

## メイクアップの部

- (1) 競技種目  
モデルを使つてのコンセプトメイクアップ。モデルの性別、容姿、年齢は問わない。
- (2) 共通テーマ  
『 Be Kind 』
- (3) 作品コンセプト  
各自で作品のコンセプトを考え事前にメールで提出。(提出フォーマットとアドレスは後日HPで公開)  
コンセプトは日本語、もしくは英語。30文字以内。
- (4) 採点基準  
メイクアップの技術を最も大きな評価基準とし、作品コンセプトの獨創性、総合的な芸術性や世界観を評価する。
- (5) 競技時間と審査方法  
競技会場にて20分間でポイントメイクアップを主とした作品の制作を行う。  
競技中、及び審査中のモデルは着席している。コンセプトシートも採点基準となる。
- (6) 事前準備  
ヘア、スキンケア、衣装、ネイル、アクセサリーの事前準備に関する制限はなし。  
監視委員の管理下にある控室で技術者本人がベースメイクアップを仕上げる。(競技開始60分前より)  
競技前のベースメイクアップは肌色に近いもののみ。ハイライト、ローライトは使用可。  
顔面ヘデザイン性の高いものは競技前ベースメイクアップとは認めない。ただし首、ボディには可。
- (7) 競技規定及び禁止事項(違反者は、減点もしくは失格となります)
  - ① 集合時間までに受付を済まさなければ失格とみなす。
  - ② 選手の服装は白の上衣・黒系のパンツを着用することとする。
  - ③ 当日の行動は、監視員の指示に従うこと。
  - ④ 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
  - ⑤ 競技中、選手同士で用具の貸し借りはしないこと。又、用具等の忘れ物があつても大会本部から貸し出しは一切しない。
  - ⑥ 競技中、他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。
  - ⑦ 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
  - ⑧ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
  - ⑨ モデルは各自同伴のこと。但し、プロモデルは不可とする。
  - ⑩ モデルの衣裳、アクセサリーは自由。
  - ⑪ 事前のネイルカラーリング、付け爪の装着は自由。
  - ⑫ モデルのヘアスタイルは競技開始までに完了しておく。メイク審査の妨げになる髪型は避ける。
  - ⑬ 首より下の事前メイクアップを認める。
  - ⑭ ケープ着用の必要はありません。
  - ⑮ ゼッケンはモデルの衣裳に付けておく。
  - ⑯ まつ毛用エクステンション、アートメイクについては失格とする。
  - ⑰ 付けまつ毛の使用は可。但し、競技時間内に装着すること。付けまつ毛の色は自由、長さは3cm以下とする。
  - ⑱ 顔を大きく覆う(顔の1/4以上)装飾品は審査の妨げになるため減点。また競技時間内で作られたものを審査対象とする。
  - ⑲ 競技時間前、ビューラーでのまつ毛のカーリングは認める、アイテープ、アイプチは不可である。
  - ⑳ 色のつかないリップクリームによる事前準備を認める。リップグロス、リップティントは不可である。
  - ㉑ 使用化粧品は自由とし、その他競技に必要なすべての器具の使用を認める。但し、競技会場・控室に電源はない。
  - ㉒ 競技会場にワゴン・テーブル等はないので、使用する化粧品・小物・器具等は各自ケースなどに入れ携帯すること。
  - ㉓ 顔に触れない限り、モデルが選手のヘルプをしても差し支えない。
  - ㉔ 受賞者は表彰式の際、モデル同伴でステージに上がること。

※貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので、各自充分にご注意下さい。
- (8) 審査事項  
大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。
- (9) 監視事項  
大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。
- (10) 採点精算  
大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。
- (11) 順位決定  
順位の設定は審査員の採点の合計点に基づき、実施する。
- (12) 表彰  
入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。